

大根のカルテック栽培

(10アール当り)

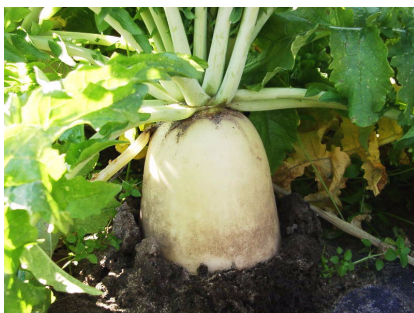
土作り	※なるべく早めに。 播種までに20日 以上おいて下さい	<p>堆肥 1トン以上 (なるべく多く) ※堆肥・有機物が無い場合は、米ヌカ120kg(以上)。 ラクトバチルス 600グラム ※堆肥を安全に土中醗酵させ、膨軟で、通気の良い土壌にします。</p> <p>硫安 80kg ※もし通常の配合肥料を使う場合は、チッソ成分で16kg程度。 (硫酸カリ 30kg … 砂地で堆肥が乏しい場合)</p> <p>畑のカルシウム 60kg (酸性土壌なら80~100kg) ※カルシウム栄養供給と、土壌酸性の中和も行います。 酸性に比較的強い作物ですが、pH5.8以下では生育が劣ります。 ※土壌pHが酸性でない場合は カルテックCa粒状として下さい。 ※カルシウムの施用は 整地後、ウネ上への散布でも構いません。</p>
		<p>上記4種を同時に散布して、畑土を耕します。 大根では畑土を 固まらず軟らかで、腐敗せず健全に醗酵した、通気の良い状態にするために、耕起に万全を期します。 土に塊を残さないようにして、キレイに整地して下さい。</p>
播種後	播種の直後、 または4~5日後	<p>濃縮酵素液 500倍で 灌水(散水)します。 ※直根(主根)をスツと強く伸ばさせ、土壌病害にも強くします。 ※その後、間引き・土寄せをしたら、濃縮酵素液を灌水します。</p>
追肥	第1回・追肥 (播種後1ヶ月頃)	<p>硫安 10kg (状況によっては 20kg) 夏穫り：播種後25日頃の間引き(または土寄せ)の後 秋・冬穫り：播種後30日頃の間引き・土寄せの後 春穫り：播種後40日頃、間引きして1個所1本とした後 ※<u>間引き・土寄せの時(直後)に 濃縮酵素液 500倍で灌水して根を伸ばし、それから5日程して 硫安を散布することを推奨します。</u>この後、葉数が増加、根重もついて来ます。</p>
	第2回・追肥 (播種後50~ 60日頃)	<p>硫安 20kg (第1回から20~30日後に、状況を見て) 秋・冬穫り：播種後50日頃 (春・夏穫り：通常は不要)</p> <p>畑のカルシウム (またはカルテックCa粒状) 20kg ※カルシウムは大根を美味しく、充実させます。 ※状況によって加減します。葉色薄く、葉数が増えず、土壌にチッソ不足 [EC:0.2以下] なら 硫安を追肥。 ※チッソが効いていれば[EC:0.3~0.4]カルシウムを追肥。 硫安とカルシウムは同時に散布できます。ただし混ぜたままで、撒かずに時間を置くことはしないで下さい。</p>
葉面散布 (適時、状況を見て)	根を伸ばし、生長増進	濃縮酵素液 500倍 で 葉面散布
	充実促進・軟腐対策	カルテックCa液状 500倍 で 葉面散布

夏穫り：3~5月播種，5~6月収穫（春宮，みの早生）

秋穫り：8月播種，10~11月収穫（青首，理想，耐病総太り）…反射マルチ(アブラムシ予防)

冬穫り：9~10月播種，12~1月収穫（青首，耐病総太り，三浦，聖護院）

春穫り：11~12月播種，3~4月収穫（天春，時無，春福）



カルテック栽培の特長は
大根が重く、肌もきれいで
食感にはシャキシャキ感があり、
味は甘みがある点。